

位山八幡神社

<http://digitalarchiveproject.jp/information/位山八幡神社/>



創建年代は不詳。国説に、仁徳天皇六十五年、飛騨国両面宿儺追討の勅命を奉じた武振熊命(たけふるくまのみこと)が、この地に先帝応神天皇の尊霊を奉祀し、戦勝を祈願されたところで、祭場遺跡とある(「飛騨八幡八社」の一つ)。また、里伝に宮坂の現地と、森の幅、上馬瀬戸にあった三社を、合併合祀したとも伝えられている。

当社は、律令制下の東山道の官道筋にあった。元禄検地で一反六畝十歩の境内除地があった。明治維新に村社に列格した。

この地は古来、大野郡久々野郷に属し、一宮神領として一村区一神社であったが、昭和三十一年に益田郡萩原町に合併し、神社も益田郡支部川西部会に編入されて、社名も「位山八幡神社」と改称された。

創建以来の記録は少なく、棟札には文政十年、嘉永元年、大正二年などに拝殿を再建したことが分かる程度である。

本殿は小社ながらも郡内における代表的な建築様式(流造入宝殿)である。

祀職は歴代一宮より兼任し、祭祀もまた一宮の御祭札を縮小した規模のものであった。

なお、境内には、県指定天然記念物の「夫婦杉」、「一位樹」がある。



0001_位山神社周辺



0002_位山神社周辺



0003_位山神社周辺



0004_位山神社周辺



0005_位山神社周辺



0006_位山神社周辺



0007_位山神社周辺



0008_位山神社周辺



0009_位山神社周辺



0010_位山神社周辺



0011_入口



0012_入口



0013_入口



0014_入口



0015_拝殿



0016_拝殿



0017_拝殿



0018_拝殿



0019_拝殿



0020_拝殿



0021_拝殿



0022_拝殿



0023_拝殿



0024_拝殿



0025_拝殿



0026_本殿



0027_本殿



0028_本殿



0029_本殿



0030_本殿



0031_本殿



0032_看板・石碑



0033_看板・石碑



0034_石畳の道の高山向け入り口



0035_石畳の道の高山向け入り口



0036_石畳の道の高山向け入り口



0037_石畳の道の高山向け入り口



0038_萩原町・慈雲寺周辺



0039_萩原町・慈雲寺周辺



0040_萩原町・慈雲寺周辺



0041_萩原町・慈雲寺周辺



0042_萩原町・慈雲寺周辺



0043_萩原町・慈雲寺周辺



0044_萩原町・慈雲寺周辺



0045_萩原町・慈雲寺周辺



0046_萩原町・慈雲寺周辺



0047_萩原町・慈雲寺周辺



0048_萩原町・慈雲寺周辺



0049_萩原町・慈雲寺周辺



0050_萩原町・慈雲寺周辺



0051_萩原町・慈雲寺周辺



0052_萩原町・慈雲寺周辺



0053_階段



0054_階段



0055_階段



0056_鳥居



0057_鳥居



0058_鳥居



0059_鳥居